

令和 7 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（概評）

【理 科】

教科用図書北諸県採択地区協議会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

（観点１） 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 理科の目標を達成するために、学習の流れやポイントを「見える化」とするとともに、単元内に「じっくり探究」を設け、より深く探究することができるようにしている。また、章ごとに「Before&After」があり、生徒が見通しをもって学習に取り組み、学習前後の自分の考えの変容を実感できるような構成・配列等の工夫が見られる。
4 大日本図書	(1) 理科の目標を達成するために、単元の導入において「これまでに学習したこと」「これから学習すること」を設け、既習事項を振り返り、見通しをもった学習を行うことができるようにしている。また、単元末では「探究活動」に取り組み、既習事項を使い新たな課題を解決することにより、さらに学びが深くなるような構成・配列等の工夫が見られる。
11 学校図書	(1) 理科の目標を達成するために、「探究」のページにおいて探究の手法を段階的に理解しやすい構成にしている。また、「学びのあしあと」「Can-Do List」等を設け、生徒が単元全体や学習内容の見通しをもって学習に取り組み、学習後にどのような力が身に付き、考えがどう深まったかを生徒自身が実感できるような構成・配列等の工夫が見られる。
17 教育出版	(1) 理科の目標を達成するために、巻頭に「探究の進め方」の折り込みを設け、本文ページを開いた状態でも探究の過程を確認しながら学習できるようにしている。また、章の導入と章末において、「学習前の私」「学習後の私」をそれぞれ設け、学びの深まりを生徒自身が認識できるような構成・配列等の工夫が見られる。
61 新興出版社啓林館	(1) 理科の目標を達成するために、単元の導入段階において、「学びの見通し」「学ぶ前にトライ！」を設け、様々な知識を活用して解決することのできる問いを設定し、課題意識をもって学習に取り組むことができるようにしている。また、同じ問いを、単元末に「学んだ後にリトライ！」として設け、科学的に探究できる構成・配列等の工夫が見られる。

2 内容や指導の充実

(観点2) 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各節の導入の「レッツ スタート！」において生徒が自ら気付きを得られるように問題を示している。また、「理科の見方・考え方」を設定し、生徒に具体的に示すなど、対話を促したり、学びを深めたりするような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、章末に「学んだことをチェックしよう」を設定し、単元末に「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」を設け、自己チェックすることで、理解できるまで学習しやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、「学びを生活や社会に広げよう」で、学習したことを他教科と関連付けたり、日常生活や社会に結び付けたりし、自分の考えを表現できる場面を設定するなどの工夫が見られる。</p>
4 大日本図書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各学年で重視する探究の過程を示し、探究の場面を明確にすることで、主体的な学習を促している。また、「話し合おう」などの対話的活動を設定することで、深い学びが実現できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、つまずきやすい内容では、「つながる」で他学年、他教科との関連や「例題」で解き方の見本を示し、「章末問題」「単元末問題」へと段階的に取り組むことで、基礎的・基本的な学習内容を確認できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各節で身に付けた問題解決の能力を、単元の最後の「探究活動」において結び付け、連続性をもたせることで、3年間を通して科学的に探究するために必要な資質・能力が育成できるような工夫が見られる。</p>
11 学校図書	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、導入場面や仮説の設定、計画立案の場面等で、生徒の話し合いのイラストを提示し、多様な考え方に触れるようにしている。また、探究の手法を段階的に示すことで、生徒が問題を発見し、話し合いながら探究を進められる工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、探究のページと、探究活動の後に学習した内容を簡潔にまとめたページの体裁を区別し、単元末には、「学習のまとめ」を設定することで、生徒が身に付けるべき学習内容が理解しやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、観察・実験の明確な結果例や考察の視点を例示したり、コラム「理路整然」を設定し、科学的探究の手法を継続して学んだりすることで、科学的な考え方の理解を深めるような工夫が見られる。</p>

17 教育出版	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、「疑問から探究してみよう」を提示し、生徒キャラクターの吹き出しをもとに課題を自分事してとらえられるようにしている。また、課題の解決に向けて、生徒が対話的に学習を進め、深い学びを実現できるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、学習の振り返りとまとめができる「要点をチェック」や、理解度を確かめる問題を、章や節の最後の小さなまとまりから、学年末の大きなまとまりへの5段階で設定することで、学習内容を定着させるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、実験結果の欄が書き込みやすいように提示されており、さらに「私のレポート」の具体例を示すことで、それらを参考に論理的に自分の考えをまとめ、結論を導くことを促すような工夫が見られる。</p>
61 新興出版社啓林館	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開させるために、各単元に1つ「探Q実験」を設定し、「探Qシート」により生徒の主体的な学習を支援している。また、「Action活用してみよう」など、発表や活動の場面を設定することで学びを深めるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、つまづきやすい内容を「例題」で解説し、同じ考え方で解ける「練習」に取り組んだり、勘違いしやすい事項は「なるほど」で正しく理解できるよう二次元コード等で情報を示したりするなどの工夫が見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、これまで学んだことから生じた疑問を「みんなで探Qクラブ」で解決していく過程を通して、日常生活にある科学を意識できるようにし、探究を継続・発展させられるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

(観点3) 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、1見開き1時間構成となっており、授業の見通しを立てやすくなっている。また、複雑な思考をシンプルなイラスト等にして掲載することで、生徒の学習意欲を喚起できる工夫が見られる。
4 大日本図書	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、多様なキャラクターを用いて、多面的に考えるためのヒントを提示している。また、実験のページに着目点が設定されており、生徒が見通しをもって学習に取り組める工夫が見られる。
11 学校図書	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、全ページに二次元コードを設け、個に応じた学びを実現している。また、章ごとに大きな写真やSDGsのアイコンを掲載し、生徒が学習内容と日常生活との関連を意識できる工夫が見られる。
17 教育出版	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、教科書のサイズや文字を大きくし、視覚的にゆったりとした紙面になっている。また、課題と結論を赤囲みで強調することで、生徒が課題と結論の整合性を意識できるような工夫が見られる。
61 新興出版社啓林館	(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、二次元コードを設けたりICTをどの場面でどのように使うのかを明記したりしている。また、章ごとの「Review」「学習のまとめ」の中で、学びの過程の振り返りを意識できるような工夫が見られる。

4 地域の願いや思い、生徒の実態等

(観点4) 本地区の生徒の実態や課題に対応し、生徒に身に付けさせたい資質・能力を育てるために、どのような工夫が見られるか。

発行者	概 評
2 東京書籍	<p>(1) 学習した内容と日常生活を関連付けようとする態度を育成するために、単元末コラム「社会につながる科学」や本文内コラム「まちなか科学」などで、日常生活や社会と学習内容との関連が見えるようにしている。また、各節の冒頭「問題発見レッツスタート!」やコラム「なるほどね!」で、興味・関心を高め、主体的に学べる工夫が見られる。</p> <p>(2) 理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を育成するために、生徒が主体的に学べるよう、各学年の巻頭に「探究の流れを確認しよう」というページを設け、身の回りの疑問をもとに課題を設定し、その課題を解決していく過程を示している。また、各単元に「じっくり探究」を設けることで、科学的な資質・能力を育成するような工夫が見られる。</p>
4 大日本図書	<p>(1) 学習した内容と日常生活を関連付けようとする態度を育成するために、単元や章の導入は写真や図が使用され、身近な事象から単元を通して学んでいく視点を示す工夫がある。また、「くらしの中の理科」や「Science Press」などの資料も豊富で、学習した内容を振り返りやすく、日常生活と関連付ける工夫が見られる。</p> <p>(2) 理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を育成するために、生徒が探究の過程に沿った学習を意識的に進められるよう、マークを設け学習過程を明確にするなど、見通しをもって問題解決に取り組み、探究する力が身に付く工夫がある。また、単元の最後に「探究活動」を設定しており、単元で学習したことを活用する工夫が見られる。</p>
11 学校図書	<p>(1) 学習した内容と日常生活を関連付けようとする態度を育成するために、各章ごとに多くの写真やイラストを用い、科学的な知識や考え方が社会で役立てられている場面を分かりやすく構成している。また、各章の始めにSDGsとの関連マークを付けることで、日常との関連を意識しやすくなるような工夫が見られる。</p> <p>(2) 理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を育成するために、各学年巻頭の「理路整然」で探究の考え方や深め方を詳細に説明し、1時間の授業ごとで働かせたい「この時間の見方」「考え方」が例示されている。また、各単元の観察・実験を「探究」として科学的探究の過程を分解して示し、探究の進め方を理解しやすくする工夫が見られる。</p>
17 教育出版	<p>(1) 学習した内容と日常生活を関連付けようとする態度を育成するために、生活の場面を想起させる写真や、他教科とのつながりを意識させる内容を入れることで、日常生活と関連付けしやすい工夫が見られる。また、「ハローサイエンス」のコラムで、生活をテーマに扱うページを設けることで、日常生活との関連の意識を高める工夫が見られる。</p> <p>(2) 理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を育成するために、各学年の巻頭の「探究の進め方」を折り込みにし、本文ページを開いた状態で、探究の流れを見ることができ工夫が見られる。また、「疑問から探究してみよう」として重点化し、限られた授業時数の中で、探究型の授業に無理なく取り組める工夫が見られる。</p>

61 新興出版社啓林館	<p>(1) 学習した内容と日常生活を関連付けようとする態度を育成するために、見開き写真や、日常生活とつながる写真・資料を多く掲載することで、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるような工夫がされている。また、単元末の「ひろがる世界」では、学習内容を応用した身近な話題や最先端の科学技術を取り上げる工夫が見られる。</p> <p>(2) 理科の見方・考え方を働かせ、科学的に探究する力を育成するために、「探Qシート」に「探究の過程」を書き込むことで、探究の流れをつかめるような工夫が見られる。また仮説や計画などを生徒自身が考える実験では、吹き出しで探究の手がかりとなるヒントを示すことで、主体的な思考を補助するような工夫が見られる。</p>
-------------	---